

AZUMI (義理と人情)

'60年姫路生まれ。19才のとき大阪へ。様々なバンド活動を経てソロになり、多くのアーティストと共演、レコーディング、ツアーに参加。オリジナルアルバムなど作品多数。'01年、シカゴサンフランシスコアジアアメリカジャズフェスティバルに出演。全米ツアーを行う。'95年復活以降の大阪「春一番」の顔となる。年間ライブ本数150〜160本。ブルースシューズをはき西へ東へ歌い歩く。



白崎映美 (義理と人情)

「上々颱風」のヴォーカルとして'90年メジャーデビュー。'94年、スタジオジブリ映画「平成狸合戦ぽんぽこ」音楽、主題歌担当。'13年、上々颱風バンド活動休止。以降「とうほくまぼりオールスターズ」、AZUMIとの流し「義理と人情」等「もっともっと歌いたい!」というシンプルで衝動的な基調に基づいて様々なライブを展開。ステージでの酒田弁（庄内弁）トークは、東北への愛と復興への祈りに満ちている。



鈴木常吉

'80年代後半のバンドブームの火付け番組、「イカすバンド天国」の7代目イカ天キング「セメントミキサーズ」のボーカル、ギター担当。セメントミキサーズ解散後「つれれこ社中」に参加。テレビドラマ「深夜食堂」のオープニング曲、挿入歌として楽曲が使用される。現在はソロ中心に、音楽活動が続けている。他に類のない形容しようのないステージは必見。

松井文

平成生まれの昭和育ち。春一番に憧れすぎて単身大阪へ。AZUMIプロデュースの「あこがれ」発表後、こどもの国へ帰る。'15年、折坂悠太とやくの三人でレーベルを立ち上げ「のろレコード」発表。各音楽雑誌レビューでも話題に。ギターをかついで歌い歩くポテト好き女子。



やく

神奈川県在住。ニューシネマから飛び出してきたような出で立ち、一度聴いたら忘れられない歌声を持つ反面、しゃべる時のもっさり感で周りの怖い大人たちをも油断させてしまう。'15年、松井文、折坂悠太と共に「のろレコード」発表。年内にAZUMIプロデュースによる初オリジナルアルバム発表予定。

折坂悠太

平成元年、鳥取生まれ。千葉県、時々外国育ち。不登校。16歳の時、バンド結成をきっかけに作曲を始める。'13年、ギター弾き語りライブ活動開始。難解な詩の裏側に懐かしさを忍ばせ、各方面を魅了していく。'14年、完全自主製作「あけぼの」発表。'15年、松井文、やくと共に「のろレコード」発表。



ITOFUZITAIZOU

'05年、活動開始。地道にライブをかさね現在に至る。労働の歌をうたい、力強く土臭い演奏は聴く人の心をとらえる。